

国際水田・水環境ネットワーク (INWEPF) について International Network for Water and Ecosystem in Paddy Fields (INWEPF)

北田裕道、○松浦宏、秋田敦子、大牟田辰也
Hiromichi Kitada, ○Hiroshi Matsuura, Atsuko Akita, Tatsuya Omuta

1. 国際水田・水環境ネットワークの概要

2003年3月、農林水産省は、国連食糧農業機関（FAO）と共催で、第3回世界水フォーラム（京都）の一環として、世界各国の農業担当大臣が参加する「水と食と農」大臣会議を開催した。同会議では3つの挑戦「食料安全保障と貧困軽減」、「持続可能な水利用」「パートナーシップ」を掲げた大臣勧告が採択された。

2004年11月、この3つのチャレンジの達成に向け、日本（農林水産省）が中心となり、アジア・モンスーン地域を中心に水田農業を実施している国¹及び国際機関が参加する「国際水田・水環境ネットワーク（INWEPF）」を創設した。INWEPFは、水田農業に関わる政府関係者等が、知識と経験を共有し、水田農業発展のために国際的な議論を行うフォーラムである。INWEPFの活動は大きく3つにより構成され、①技術的・政策的な講演を行う「シンポジウム」、②活動方針等を決める「運営会議」、それから、INWEPFの根幹であり、③各テーマに沿って作業・議論を行う「ワーキンググループ（WG）」がある。これまで、我が国は、水田農業が有する多面的機能、持続的な水管理及びライフサイクルコストを考慮した施設整備に関する国際社会の理解醸成を図るため、WGの活動をリードし、世界水フォーラム等の国際会議におけるINWEPFの情報発信を行ってきた。WGの戦略（テーマ）は、その時折の国際的な課題に合致するように幾度か改編されてきており、現在の第5フェーズ戦略（2018年～2021年）では、図に示すように、我が国はWG3のリーダー国として、水利用効率・水生産性の向上を考慮した政策・技術についての議論を進めている。

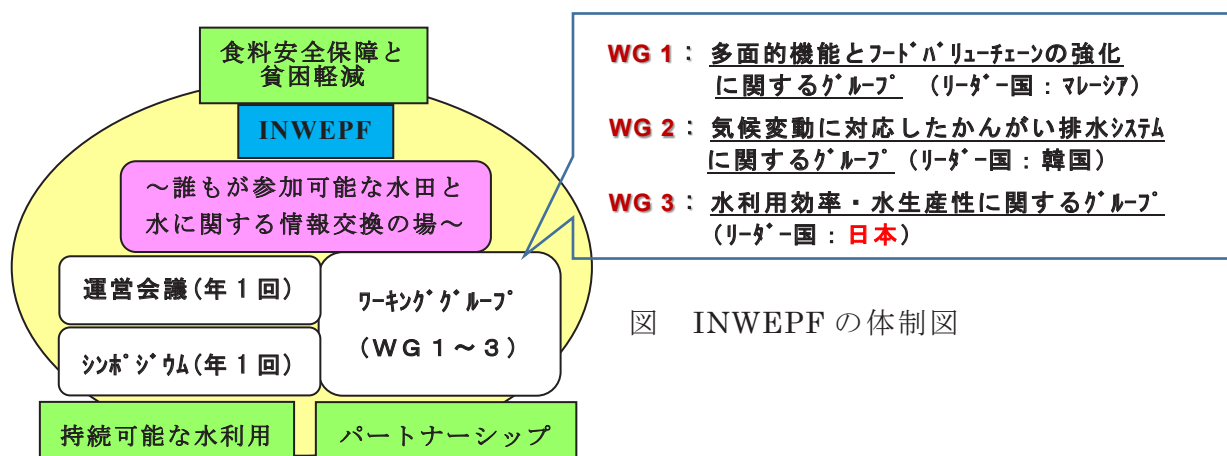


図 INWEPF の体制図

¹ 2020年現在、17ヶ国がINWEPFメンバー国：バングラディッシュ、カンボジア、中国、エジプト、インド、インドネシア、日本、韓国、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、スリランカ、タイ、ベトナム

2. 2019 SEOUL INWEPF & PAWEES 国際会議の開催

INWEPF では、毎年1回、参加国が持ち回りでシンポジウム及び運営会議を開催しており、2019年には、国際水田・水環境工学会（PAWEES）と合同で、「New, Green and Smart Paradigm of Agricultural Water」をテーマとして、「2019 SEOUL INWEPF & PAWEES 国際会議（以下、2019 ソウル会議）」が韓国のソウル市において開催された。

ここで行われた第16回 INWEPF 運営会議では、各WGの活動結果が報告され、今後の活動計画が議論されると共に、第17回（2020年）をスリランカで、第18回（2021年）をエジプトで開催することが決定された。

また、第5フェーズ戦略のテーマである「パートナーシップ強化」に向けた取り組みとして、我が国の支援により、稲作農業を推進するアフリカ4か国（エチオピア、コートジボワール、ザンビア、タンザニア）が招待された。アフリカ諸国からは、INWEPFへの参加はアフリカの稲作推進に大きく貢献するものであり、協力関係を深めていきたい旨の発表が行われた。

最後のクロージングセレモニーにおいて、INWEPF、PAWEESの各議論の総括の後、以下の「2019 Seoul INWEPF-PAWEES ジョイントステートメント」が採択された。

INWEPF

- ・第5フェーズのテーマである「パートナーシップ強化とSDGs達成のための専門的知見の活用」に基づき、稲作農業を推進するアフリカ諸国へ活動を広げる。
- ・メンバー国と国際機関との協力関係を深める。
- ・第17回運営会議は、2020年にスリランカ委員会主催で開催され、その会議において、水田農業の更なる発展に向かって知識と経験を共に共有する。
- ・第18回運営会議は2021年にエジプト委員会主催で開催する。

PAWEES

- ・国際ジャーナルの編集を含むPAWEES活動であるPaddy and Water Environment（PWE）は、世界の水田農業地域からの専門家だけでなく、国内外の国際組織との協力関係を拡大し、強固なものとする。
- ・国際ジャーナルPWEは、農業科学・工学、環境科学の分野で認められている。メンバーは、PWEの出版のサポートを続け、品質を維持することに同意。
- ・PAWEES 2020国際会議は、TAES（台湾農業工学会）が主催し、台湾で開催する。この会議の目的は、水田と水環境に関する問題を話し合うことである。

3. INWEPF シンポジウム及び第17回運営会議の開催

2020年は、COVID-19の世界的な影響により、同年11月にスリランカでの開催を予定していた「INWEPF シンポジウム及び第17回運営会議」が延期となった。現在、スリランカが中心となって開催方針を検討中であるが、第17回運営会議においては、次期フェーズの戦略について議論がなされる予定である。

INWEPFとしては、引き続きPAWEESと連携し、水田農業の持続的な発展に向けたパートナーシップを深めてまいりたい。